

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
450006	XYZ2450006	2	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	選択	2年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	選択	2年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	専門	選択	2年
プログラミング環境	河原 和好			情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	専門	選択	2年
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	専門	選択	2年		
授業目的							
コンピュータにおける「環境」とは、コンピュータやネットワークを構成するハードウェアとソフトウェアの組み合わせや、それぞれの状態や設定を指す。「プログラミング環境」とは、それらのうち、プログラミング（プログラム作成やアプリケーション開発）を行なうために必要な基本ソフトウェア（OS）や、エディタ・コンパイラなどのソフトウェアが提供されている環境のことである。							
本講義では、コンピュータによりプログラムを作成する際に必要なソフトウェアに関する知識や技術を学習する。具体的には、基本ソフトウェアの一つである UNIX 環境の使用方法を学習し、それをういたプログラミングに関する基礎知識を学習する。							
これにより、企業などにおける情報システムを運用するサーバや、アプリケーションの開発環境、組み込みシステム等で使用されている Unix の基本的な扱い方を学んで利用できるようになることを目的とする。							
各回毎の授業内容							
第 1 回 【授】プログラミング環境について、UNIX について 【前・後】事後：復習 2 時間。 第 2 回 【授】UNIX の基本操作、シェル 【前・後】事前：テキスト・配布資料による予習 2 時間。事後：復習 2 時間。 第 3 回 【授】基本コマンド 1、ファイルとディレクトリの操作 【前・後】事前：テキスト・配布資料による予習 2 時間。事後：復習 2 時間。 第 4 回 【授】正規表現とパイプ 【前・後】事前：テキスト・配布資料による予習 2 時間。事後：復習 2 時間。 第 5 回 【授】基本コマンド 2 【前・後】事前：テキスト・配布資料による予習 2 時間。事後：復習 2 時間。 第 6 回 【授】エディタ 【前・後】事前：テキスト・配布資料による予習 2 時間。事後：復習 2 時間。 第 7 回 【授】ユーザ権限とアクセス権 【前・後】事前：テキスト・配布資料による予習 2 時間。事後：復習 2 時間。 第 8 回 【授】Windows との連携 【前・後】事前：テキスト・配布資料による予習 2 時間。事後：復習 2 時間。				第 9 回 【授】プログラミングについて 【前・後】事前：テキスト・配布資料による予習 2 時間。事後：復習 2 時間。 第 10 回 【授】シェルスクリプトの基礎 【前・後】事前：テキスト・配布資料による予習 2 時間。事後：復習 2 時間。 第 11 回 【授】制御構造とアルゴリズム 1 【前・後】事前：テキスト・配布資料による予習 2 時間。事後：復習 2 時間。 第 12 回 【授】制御構造とアルゴリズム 2 【前・後】事前：テキスト・配布資料による予習 2 時間。事後：復習 2 時間。 第 13 回 【授】関数 【前・後】事前：テキスト・配布資料による予習 2 時間。事後：復習 2 時間。 第 14 回 【授】コーディングスタイル。期末レポート提示予定。 【前・後】事前：テキスト・配布資料による予習 2 時間。事後：復習 2 時間。 第 15 回 【授】まとめ 【前・後】事前：テキスト・配布資料による予習 2 時間。事後：復習 2 時間。 第 16 回 【授】期末レポート提出 【前・後】事前：レポート作成。2 時間。			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート	20	10	10		10		50
宿題・授業外レポート	15	15	10		10		50
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							
時間内に数回提示する小テストの合計点 50%、中間レポート(Unix 関連)25%、期末レポート (UNIX 関連) 25%の配分で評価する							
小テストについては採点して返却し解説を行う。 レポートについてはポータルにて解答を提示し、講評を加える。							
教科書参考書							
資料を配付する。参考資料は講義中に紹介する。							
受講に当たっての留意事項							
・受講学生の理解度により講義の順番（日程）や分量を調整することがある ・プログラミングに関する演習や講義科目を履修済みであり、プログラミングについてある程度理解していることが望ましい ・「数学基礎」の履修を指導された学生は、この単位を取得していることが望ましい							
学習到達目標							
・UNIX 環境を理解し活用できるようになる（小テスト 25%、中間レポート 25%） ・プログラミングに関する基礎知識を学習し活用できるようになる（小テスト 25%、期末レポート 25%）							
JABEE							
関連する学習・教育到達目標：J							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習